



シーシーエスの“自然光LED”が京都府立堂本印象美術館で本格採用へ ～京都が生んだ日本画家 堂本印象の絵画を、美しく繊細に表現～

シーシーエス株式会社（本社：京都市上京区 代表執行役社長 各務嘉郎）が開発した超高演色性LEDである“自然光LED”を光源とする美術館・博物館用LEDスポット照明「MUSEUM COB SPOT LIGHT」が、京都府立堂本印象美術館（京都市北区、館長 三輪晃久）の企画展「印象作品ができるまで—『春』『婦女』『或る家族』—」の展示用照明として採用されました。

■印象作品の質感や色彩を美しく繊細に表現

京都府立堂本印象美術館は、日本画家 堂本印象の所蔵作品などを展示しています。色の再現性が高い“自然光LED”により、作品の質感や色彩が見事に再現され、鑑賞しやすい展示空間が作れるとのことから、今回の企画展「印象作品ができるまで—『春』『婦女』『或る家族』—」で、採用いただきました。今後、館全体にも展開される予定です。

繊細な色合いやタッチが特長の印象の作品を、シーシーエスの“自然光LED”の光がやさしく照らします。



■展示品を美しく照らし出す“自然光LED”

当社の“自然光LED”は紫色から赤色まで全ての可視光の波長を含んでいるため、太陽の下での自然の光に非常に近いという特性を持ち、展示品の本来の色を忠実に再現できます。今回採用いただいた照明においても、色の再現性を示す平均演色評価数*は、Ra96 とLED照明業界における最高水準を実現しています。

※:平均演色評価数(Ra)とは、照明光による物体の色再現性についての良し悪しを表す代表的な指数です。ある光源のもとで、各物体の色彩が基準光源による照明とまったく同じ色彩に見える場合、その光源の Ra は 100 になります。色再現性が悪化するほど Ra の値は小さくなります。なお、Ra は色の再現性に対する忠実度を表した指数で、主観的な色の見え方に対する好ましさを表すものではありません。

■京都府立堂本印象美術館について

豊かな歴史と自然に溢れる金閣寺から龍安寺、仁和寺に至る「きぬかけの路」に立地する近代日本画の大家 堂本印象 (1891~1975) の美術館です。印象は生涯多くの作品を遺しましたが、その作風は伝統的な日本画から抽象画に至るまで華麗な変遷を辿り、日本画壇に強烈な刺激を与え続けました。昭和 41 年に建てられた美術館は内装外装すべてが堂本印象自身の意匠により彩られています。

○京都府立堂本印象美術館の詳細については、以下をご覧ください。

<http://insho-domoto.com/>

○企画展「印象作品ができるまで—『春』『婦女』『或る家族』—」(10月10日~11月24日)
については以下をご覧ください。

<http://insho-domoto.com/plan/new/current/index2.html>

■シーシーエス株式会社について

シーシーエス株式会社は、1993年に京都で工業用途での検査用 LED 照明メーカーとして創業以来、検査用 LED 照明の分野ではリーディングカンパニーとして、トップシェアを誇ります。工業用途で培った照明の使い方により検査精度を高める技術「ライティングソリューション」を強みに様々な分野へ展開しています。2007年には太陽光に近い光の「自然光 LED」を開発、光の質が求められる美術館や博物館などに最適な照明を提供しています。当社の詳細につきましてはホームページをご覧ください。

<http://www.ccs-inc.co.jp/>

■本件に関するお問い合わせ■

シーシーエス株式会社 <http://www.ccs-inc.co.jp>

経営戦略グループ 広報・IR 担当 梶原、秋元

〒602-8011 京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴円町 374

TEL:075-415-8291(広報) FAX:075-415-7724 E-mail:koho@ccs-inc.co.jp